

介護職員初任者研修科目別シラバス

事業者名		実施場所		
社会福祉法人 寿広福社会		特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下		
科目名	1 職務の理解	研修時間 9:00～12:00・13:00～16:00		
指導目標	1 研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について理解する。この指導を通じて介護職がどのような環境でどのような形でどのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し以降の研修に実践的に取り組めるようにする。			
細目	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学 習 時間数	内容
1 多様なサービスの理解	3	3		<講義> ① 介護保険サービス(居宅、施設) ② 介護保険外サービス <演習> 介護保険ではどのような所でどのようなサービスが利用できるか グループで話し合いを行う。
2 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3		<講義> ①居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ②居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ ③ケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ 他職種・介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携 <演習> サービス提供現場等でどのような仕事を行うかを、グループで話し合いを行うことにより具体的にイメージできるようにする。
時間数合計	6	6		
使用テキスト	(株) QOL サービス 介護職員初任者研修テキスト			

介護職員初任者研修科目別シラバス				
事業者名			実施場所	
社会福祉法人 寿広福祉会			特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下	
科目名	2 介護における尊厳の保持・自立支援		研修時間	9:35～11:05
指導目標	1 介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを白覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点およびやってはいけない行動例を理解する。			
細目	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学 習 時間数	内容
1 人権と尊厳を支える介護	5	1	4	<講義> 人権と尊厳の保持、ICF(国際生活機能分類) <通信の課題> QOL、ノーマライゼーション、虐待予防、身体拘束禁止、成年後見制度、 <演習> ノーマライゼーションについてグループで話し合う事により人権について理解する事ができる。
2 自立に向けた介護	4	1	3	<講義> 自立支援 <通信の課題> 自立支援、自立支援のための介護方法 <演習> 事例を通じて自立支援について理解を深める。
時間数合計	9	2	7	
使用テキスト	(株) QOL サービス 介護職員初任者研修テキスト			

介護職員初任者研修科目別シラバス				
事業者名			実施場所	
社会福祉法人 寿広福社会			特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下	
科目名	3 介護の基本		研修時間 8:30～9:30・11:10～12:10・13:10～14:10	
指導目標	<p>1 介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。</p> <p>介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。</p>			
細目	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学 習 時間数	内容
1 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5	1	0.5	<p><講義></p> <p>①介護環境の特徴の理解</p> <p>②介護の専門性</p> <p>③介護に関する職種</p> <p><通信の課題></p> <p>介護の専門性</p>
2 介護職の職業倫理	1.5	1	0.5	<p><講義></p> <p>① 介護職としての社会的責任</p> <p>② チームケアにおける役割分担</p> <p><演習></p> <p>異なる職種がチームケアを行うにはどのような事に注意をしておこなっていくべきか？グループで話し合う。</p>
3 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	0.5	1	<p><講義></p> <p>①介護における安全の確保</p> <p>②事故予防、安全対策</p> <p>③感染対策</p> <p><通信の課題></p> <p>事故予防、安全対策、感染対策</p> <p><演習></p> <p>介護現場ではどのような危険が潜んでいるか？グループで話し合うことによってリスクマネジメントについて理解する。</p>
4 介護職の安全	1.5	0.5	1	<p><講義></p> <p>介護職の心身の健康管理</p> <p><通信の課題></p> <p>介護職の心身の健康管理</p>
時間数合計	6	3	3	
使用テキスト	(株) QOL サービス 介護職員初任者研修テキスト			

介護職員初任者研修科目別シラバス				
事業者名			実施場所	
社会福祉法人 寿広福祉会			特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下	
科目名	4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携			研修時間 16:10～17:40
指導目標	1 介護保険制度や障害者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的・サービス利用の流れ・各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。			
細目	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学 習 時間数	内容
1 介護保険制度	4	1	3	<講義> ①介護保険制度創設の背景および目的、動向 ②仕組みの基礎的理解 ③制度を支える財源、組織、団体の機能と役割 ④利用者の状況・状況に応じたコミュニケーション技術の実際 <通信の課題> 介護保険制度について、仕組みの基礎的理解
2 医療との連携とリハビリテーション	2	0.5	1.5	<通信の課題> リハビリテーションの理念 <演習> 施設における介護職の専門分野・看護職の専門分野・リハビリの専門分野についてグループで話し合うことにより連携の仕方について理解する。
3 障害者総合支援制度およびその他の制度	3	0.5	2.5	<講義> ① 障害者福祉制度の理念 ② 障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ③ 個人の権利を守る制度の概要 <通信の課題> 成年後見制度・ICFについて
時間数合計	9	2.0	7.0	
使用テキスト	(株) QOL サービス 介護職員初任者研修テキスト			

介護職員初任者研修科目別シラバス				
事業者名			実施場所	
社会福祉法人 寿広福社会			特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下	
科目名	4 介護における:コミュニケーション技術		研修時間 14:10~17:10	
指導目標	1 高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき(取るべきでない)行動例を理解する。			
細目	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学 習 時間数	内容
1 介護における コミュニケーション	3	1.5	1.5	<講義> ①介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ②コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション ③利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ④利用者の状況・状況に応じたコミュニケーション技術の実際 <演習> 利用者・家族との人間関係を傷つけるコミュニケーションとその理由についてグループ討議を行い、配慮に必要性を考える <通信の課題> コミュニケーションの技法、利用者の状況に応じたコミュニケーションの技法 <演習> コミュニケーションを行う際のポイントをグループで話し合うことによりコミュニケーションの重要性について理解を深める。
2 介護におけるチームの コミュニケーション	3	1.5	1.5	<講義> ①記録における情報の共有化 ②報告 ③コミュニケーションを促す環境 <通信の課題> 記録における情報の共有化 <演習> 事例を通じ実際に記録を書くことによって、より記録についての理解する事ができる。
時間数合計	6	3	3	
使用テキスト	(株) QOL サービス 介護職員初任者研修テキスト			

介護職員初任者研修科目別シラバス				
事業者名		実施場所		
社会福祉法人 寿広福社会		特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下		
科目名	6 老化の理解	研修時間		10:10～12:10・13:00～14:00
指導目標	1 加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、白らが継続的に学習すべき事項を理解している。			
細目	時間数	うち 通学学 時間数	うち 通信学 時間数	内容
1 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<講義> ①老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ②老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 <演習> 老化に伴う心身の変化等の具体例を挙げ、その対応についてグループで話し合いをおこなう <通信の課題> 老化に伴う心身の変化と特徴、老化に伴う心身の変化と日常生活への影響
2 高齢者と健康	3	1.5	1.5	<講義> ①高齢者の疾病と生活上の留意点 ②高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 <通信の課題> 高齢者の疾病と生活上の留意点 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点
時間数合計	6	3	3	
使用テキスト	(株) QOL サービス 介護職員初任者研修テキスト			

介護職員初任者研修科目別シラバス				
事業者名			実施場所	
社会福祉法人 寿広福社会			特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下	
科目名	7 認知症の理解		8:30～10:00・15:50～17:20	
指導目標	1 介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断基準となる原則を理解する。			
細目	時間数	うち 通学習 時間数	うち 通信習 時間数	内容
1 認知症を取り巻く状況	2	1	1	<講義> 認知症ケアの理念
2 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1	0.5	0.5	<講義> 認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント・健康管理 <通信の課題> 認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント
3 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	<講義> ①認知症の人の生活障害、心理、行動の特徴 ②認知症の利用者への対応 <演習> 複数の具体的な事例を検討し、認知症の利用者の介護における対応方法を確認する。 <通信の課題> 認知症の利用者への対応
4 家族への支援	1	0.5	0.5	<講義> ①認知症の受容過程での援助 ②介護負担の軽減(レスパイトケア)
時間数合計	6	3	3	
使用テキスト	(株) QOL サービス 介護職員初任者研修テキスト			

介護職員初任者研修科目別シラバス				
事業者名			実施場所	
社会福祉法人 寿広福社会			特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下	
科目名	8 障害の理解	研修時間		14:15～15:45
指導目標	1 障害の概念と ICF、障害者福祉の基本的考え方について理解し介護における基本的な考え方について理解する。			
細目	時間数	うち 通学習 時間数	うち 通信習 時間数	内容
1 障害の基礎的理解	1	1		<講義> ① 障害者福祉の基本理念 ② 障害の概念と国際生活機能分類(ICF)
2 障害の医学的側面 生活障害、心理・行動の 特徴、かかわり支援等の 基礎的知識	1	0.5	0.5	<講義> ① 肢体不自由(身体障害) ② 内部障害 ③ 音声・言語・咀嚼機能障害 ④ 高次脳機能障害 <通信学習> 遂行機能障害・ICF・ノーマライゼーション
3 家族の心理、かかわり あい支援の理解	1	0.5	0.5	<講義> ① 介護する家族の遭遇するストレス ② 障害の理解と受容支援 ③ 介護負担の軽減
時間数合計	3	2	1	
使用テキスト	(株) QOL サービス 介護職員初任者研修テキスト			

介護職員初任者研修科目別シラバス				
事業者名			実施場所	
社会福祉法人 寿広福社会			特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下	
科目名	9 こころとからだのしくみと生活支援技術		研修時間	
指導目標	<p>介護技術の根拠と、根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</p> <p>尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</p>			
細目	時間数	うち 通学習 時間数	うち 通信習 時間数	内容
1 介護の基本的な考え方	3	3		<p><講義・演習>研修時間 8:30～11:30</p> <p>①理論に基づいた介護 ②法的根拠に基づく介護 ③リスクマネジメントについて ④本人本位・自立支援について</p>
2 介護に関するところの基礎的理解	4	0.5	3.5	<p><講義・演習>研修時間 11:35～12:05</p> <p>①学習と記憶の基礎知識</p> <p><通信の課題> 学習と記憶の基礎知識</p>
3 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	2.5	1.5	<p><講義・演習>研修時間 13:00～15:30</p> <p>①人体の各部の名称と働きに関する基礎知識 ②中枢神経と末梢神経に関する基礎知識</p> <p><通信の課題> 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、骨・関節・筋に関する基礎。</p>
4 生活と家事	5	3	2	<p><講義・演習>研修時間 10:40～12:40・13:40～14:40</p> <p>①生活と家事の理解 ②介護職の工夫・体験</p> <p><通信の課題> 食事の意味について</p>
5 快適な住環境設備と介護	5	2	3	<p><講義・演習>研修時間 8:30～10:30</p> <p>①快適な住環境に関する基礎知識 ②高齢者・障害者特有の住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法</p> <p><通信の課題> 車イスについて</p>
6 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3	2	1	<p><演習>研修時間 12:30～14:30</p> <p>①整容に関する基礎知識 ②整容の支援技術</p>
7 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5	4	1	<p><講義・演習>研修時間 8:30～12:30</p> <p>①移動・移乗に関する基礎知識 ②移動・移乗のための用具と活用方法 ③褥瘡と褥瘡予防について</p> <p><通信課題> 移乗・移動について</p>

8 食事に関連したところ とからだのしくみと自 立に向けた介護	4	3	1	<講義・演習>研修時間 14:45～17:45 ①食事に関する基礎知識 ②食事環境の整備と用具の活用方法 ③楽しい食事を阻害する要因と支援方法 ④食事の留意点と支援 <通信の課題> 食事の意味について
9 入浴に関連したところ とからだのしくみと自 立に向けた介護	4	3	1	<講義・演習>研修時間 14:40～17:40 ①入浴と清潔保持に関する基礎知識 ②入浴と整容の用具の活用方法 ③楽しい入浴の支援方法 <通信の課題> 入浴の意義・目的について
10 排泄に関連したところ とからだのしくみと 自立に向けた介護	4	4		<演習>研修時間 13:30～17:30 ①排泄に関する基礎知識 ②排泄環境の整備と用具の活用方法 ③爽快な排泄の支援方法 <通信の課題> 排泄ケアについて
11 睡眠に関連したところ とからだのしくみと 自立に向けた介護	3	3		<演習>研修時間 8:30～11:30 ①睡眠に関する基礎知識 ②睡眠環境と用具の活用方法 ③快い睡眠を阻害する要因と支援方法 ④ベットメイキング
12 死にゆく人に関連し たところとからだのし くみと終末期介護	3	2	1	<演習>研修時間 15:35～17:35 ①終末期に関する基礎知識 ②生から死への過程とところの理解 ③苦痛の少ない死への支援と他職種との連携
13 介護家庭の基礎的理 解	16	16		<演習>研修時間 8:30～17:30 ①介護過程の基礎的理解 ②介護過程の展開に必要な構成要素 <通信の課題> 全体を通して再確認したい事について
14 総合生活支援技術演 習	16	16		<演習>研修時間 8:30～17:30 総合生活支援技術演習(事例による展開)
時間数合計	79	64	15	
使用テキスト	(株) QOL サービス 介護職員初任者研修テキスト			

介護職員初任者研修科目別シラバス

事業者名		実施場所		
社会法人寿広福社会		特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下		
科目名	10 振り返り	研修時間 8:30～12:30		
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
細目	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	内容
1 振り返り	4	4		<演習> ①研修を通して学んだこと ②今後継続して学ぶべきこと ③根拠に基づく介護についての要点
時間数合計	4	4	0	
使用テキスト	(株) QOL サービス 介護職員初任者研修テキスト			